



天塩渡河訓練

徒橋7年振りに架設

第十二施設群は、六月十日から二十一日までの間、人員百二十名、車両約四十五両の規模で第一次群野営訓練を天塩町で実施した。

本訓練は、群の渡河能力の向上を図るため、天塩川の二カ所の訓練場で漕舟、漕渡、徒橋の架設、軽門橋の構築、運航、重門橋の構築（目走浮橋、自走架柱橋と自走浮橋の連接の課題を第三三七施設中隊を基幹とし、基本訓練から協同訓練へと段階的に演練した。今回最も重視したのは、基本訓練の徹底と普通科、機甲科、施設科部隊による協同訓練を行い練度を向上させたことである。また、徒橋の架設は、群として七年振りの訓練

であり、訓練場の諸制約はあったが、中隊長を中心に隊員の真剣で基本的構築動作により、川幅約七十mに整齊と架設した。協同部隊として、第二十八普通科連隊から中隊長以下三十一名、第二戦車大隊から戦車四両、戦車回収車一両が参加したが、普通科隊員は漕舟や徒橋の通過は初体験であり、普通科中隊長も「大変良い訓練をさせてもらいました」と感想を述べていた。この間、笠原協力会長、天塩町民の訓練見学、新隊員・予備自衛官研修を行った。予備自衛官の研修では漕舟の体験と、夜は隊員、笠原会長、予備自衛官、町民による野宴を行い町民との交流を図るとともに、予備自衛官の用品シヨールにより大いに盛り上がった。漕舟等競技会では、漕舟の部の四kmのコースで十チームが参加、軽門橋の構築の部には三チーム対抗方式で行い、第三三六施設中隊が完全優勝した。

徒歩訓練は、天塩から豊富温泉までの三十一kmを走り歩いたりして六時間以内に到着する訓練であり、群長以下約百名が参加した。第一位グループは、全て走り三時間、最終グループは全て歩き六時間二十分（途中で昼食をとったため二十分オーバー）の成果であり、来年のスキー百

行進の基礎を確立した。さすがに三十一kmは長く、北緯四十五度通過点では写真撮影のため元氣な姿を見せたが、訓練翌日は足の筋肉痛患者が多く、救護所も充実していたようである。今回の宿営地は天塩林業センター（富士見荘）前で海に近く、早朝又は課業終了後、魚釣りに行く隊員も多く夜のつまみは魚づくめだったようである。



いわみざわ



IWAMIZAWA

発行所 陸地会 5
上野町 1-3
自衛官 駐屯地
B
見本市 日 出 台
岩見 北 空 知 道 立 福 址 村
心 北 空 知 道 立 福 址 村 350
印刷所 北 空 知 道 立 福 址 村
〒 0126 45-2721

春季演習場整備

本年度初めて群が統一して行う訓練（作業）として、春季演習場整備をリフレッシュ期間終了直後の五月九日から五月十八日までの約十日間に行い実施した。群長以下総勢二百五十五名の隊員が、北大演・孫別両演習場及び北千歳駐屯地に展開、所定の任務を十分に達成し終了した。この間、群長は一本演習場整備は、群長が方面総監から命ぜられた最も重要な任務である。各中隊は創意を凝らし本任務を達成せよと、徹夜をこらして基礎動作の確行（二百貫管理、安全管理を本整備作業間の要事項として掲げ、各中隊を律した。

今回、群に与えられた主要な任務は、例年行っている雪解け後の（一）装輪・装軌車道の維持、補修、（二）戦橋装軌車道への危険標識の設置、土留材の交換、法面への張り芝作業、（三）新装軌車道予定地域の伐採

（約三千二百本）作業、四北千歳駐屯地車庫前の一枚約十四トンもあるRC板約五百二十枚の撤去・運搬・集積作業、（五）新恵庭橋・盤尻橋を始めとする暗架の補修、集水研・安全ロープの補修作業等であった。前半は天候にも恵まれ、又、隊員の士気、昼夜を分かたぬ努力により予想以上の進捗を見せたが、完成間際の十五日から十六日にかけて豪雨に見舞われ、せっかく観成した七戦橋・新恵庭橋等の法面が崩壊、装軌道の泥合い化による整地作業のやり直し、更に暗架・集水研等新たに補修すべき箇所が発生等、思わぬ事態が続出した。しかしながら群総力を挙げて補修作業を行った結果、所望

予備自衛官招集訓練

岩見沢駐屯地では六月十日から十四日までの五日間、六年度予備自衛官招集訓練を実施した。今回の訓練の特色は、天塩渡河野営に参加したことだ。

十日の編成完結式で松本予備二尉が得田群長に申告し、引き続き実施した群長の精神教育では、予備自衛官制度の将来と展望について全員興味深く講話に聞き入っていた。二日目の射撃検定では四十四点という隊員もいて現役隊員も驚いていた。

三日目から四日目にかけては大塩渡河野営に参加し、全員で宿営準備を実施するとともに第三三七施設中隊計画の漕舟訓練で汗を流した後、夜は渡河野営参加現役隊員と野宴を実施し、交流を通じて親睦を深め思い出話に時間の過ぎるのも忘れていた。五日目は体力検定後、札幌地方連絡部予備自衛官班長と懇談を実施し、三名の隊員が札幌地連部長表彰を受けた。十四日午後、五日間の訓練日程を無事終了し、編成解組式後に被服等を返納して、次回も岩見沢駐屯地の招集訓練



に参加します」の声を残し、教官・助教の見送りを受けて離隊した。



の時期までに見事に完成し得た。また、本整備作業の中間段階で団長の指導、方面幕僚副長（防衛）の視察を受けるとともに、五月十七日団長から最終点検を受け、第十二施設群の施設技術を駆使した施設科らしい作業に対し賞賛の言葉をいただいた。なお、本作業間、岩見沢駐屯地業務隊から、快適な野営のため毎日移動売店の支援を受けた。

隊友会岩見沢支部

平成六年度通常総会開催

(平成六年度事業計画案どおり承認される)

隊友会岩見沢支部では平成六年度の定例総会を、五月二十二日午後からホテルサンブラザで盛大に開催した。

当日は来賓として、能勢岩見沢市長、海野札幌支部連合会長、岩見沢駐屯地からは得田駐屯地司令以下十一名、全国自衛隊父兄会岩見沢支部長竹村様のご臨席され、当支部から会員五十四名が出席して盛大に挙行された。

総会の開始に当たり支部長の挨拶があった後、来賓の海野札幌支部連合会長から挨拶があり特に「岩見沢支部は北海道でも一番の団結した支部である」と述べられ、また、父兄会の竹村岩見沢支部長からは、P.K.O派遣での御支援に対し感謝が述べられた。



開会挨拶

総会に当たって田中久氏を議長に選出して、平成五年度の事業及び収支決算報告が行われ全会一致で承認された。

次いで平成六年度の事業計画及び収支予算(案)について提案され、計画(案)通り承認可決された。

続いて来年度の役員改選に伴う役員選挙委員会の設置を提案し、七名の人を選出、現役員三名、会員四名で組織すること承認された。

田中名議長のスムーズな会議運びで予定時間より早目に進行した。

この後、表彰式に移った。

- (受賞者十三名)
- 鈴木 修様 高田 登様
 - 松田 光雄様 坂田 和幸様
 - 吉本 實様 斎藤 綱雄様
 - 鈴木 明治様 吉田 金清様
 - 金川 聖治様 吉良 健治様
 - 弥水 司様 牧 宏雅様
 - 伊嶋正四郎様



表彰受賞者

休憩の後、安藤顧問の講演に移り「地方自治体の委託事業について」約三十分間にわたりお話があり、政治改革の問題から地方自治体の問題に触れて経費節約の面からも委託事業に移行できるものがあるべく委託事業に移行できるものは委託事業に転換する方向で進んでいる。元般、本州方面を視察旅行したおりに委託事業関係で、元自衛隊OBの方々が実施していることを視察して当支部でもできないか検討に値すると感じた旨を述べられ、今後期待したいものと思われ、この後、記

念写真を撮影し懇親会に入



安藤氏の講演

懇親会の開始に当たって、能勢岩見沢市長から挨拶があり一隊友会は岩見沢市民と身近に感じるものがある」と、また、得田駐屯地司令からの挨拶で、「自衛隊もリストラ時代を迎えており、部隊としてもあらゆることに貢献できるように訓練の強化を図ってきたい、皆さんの一層の御支援をお願いしたい」と述べられた。



得田駐屯地司令挨拶 岩見沢市長挨拶

この後、津村駐屯地業務隊長の音頭で乾杯となり懇談に入った。会員もそれぞれ仕事が終わったため都合で欠席の人などもあるが、集まりの都度、顔触れも変わっており昔の思い出や元気な姿を確かめ合った。

「岩見沢市政について」報告(つづき)



顧問 安藤 富夫

つづき 岩見沢市政について「報告(つづき)」

前回、不幸はビル(「不幸な始まり」)について書きましたが、今回は関係団体などのように関わり、不幸の度合いが高まっていったかを述べたいと思います。

第一回目が大幅な計画の変更「経済懇話会の構想」とするならば、和商(五条西二丁目)の倒産が二回目の不幸の始まりであったと言えます。

恐らく懇話会の構想には、確実に収益を見込める場外馬券場の設置ということが土台としてあった。もっと極端に言えば駅前ビル構想は場外馬券場の構想であったのかもしれない。つまり、ただ単に場

同じ釜の飯を食したものと忘れてたいひとときであろうと思う。時間の過ぎるのも忘れてカラオケや柿村氏のマジックなどに興じ、最後に北部方面隊歌を合唱して終わりを締めくくった。

長崎 記

宝石 創業86年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

(株)太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
TEL 0126-223353 223354

- 年金と医療保険のバイオニア
- 生涯の保障に終身保険(明朗)

頭金制度により毎月安い保険料で大きな安心

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内327)

当時は、中心街再開発問題が難航しており様々な点で問題はあったものの、東高等学校の移転、合わせて東高等学校の跡地には南小学校が移転、更には、南小学校跡地に北電が移転したことに伴い北電跡地に建築するわけだが、この一連の跡地利用の成功や、更には市の指導のもと、農林水産省の補助も受け、商工行政の大きな成果として評価を受けた事業となったが、その後、和商の経営不振により多額の負債を抱え倒産してしまっ

そこで建物を処分して負債整理をしようとしたが補助金を受けていたことが、逆に整理の足枷となってしまった。

.....だから
二人の時間を刻みたい
よろしければ.....

Iwamizawa Heiankaku
Phone. 0126-23-4581 Free Dial. 0120-201143

おしゃれの店

洋品のマルカワ

高橋邦夫

岩見沢市3条東1丁目 ☎221224

新隊員前期教育

Ⅱ 第八期前期新隊員総員十四名、事故無し、現在員十四名、集合終わりⅡ

第十二施設群では、四月十日から六月二十八日までの間、四月新隊員十四名の前期教育を実施した。

四月十日、駐屯地体育館で行われた入隊式には、父兄関係者約百名が出席して、真新しい制服に実を包んだ新隊員の門出を祝った。



武器授与式では、ズシリと重い小銃が教育隊長より手渡され、隊員は改めて使命の重さに緊張の面持ちだった。訓練最初の関門は背のうと小銃を持つての10km行軍。小雨降る北海道大演習場で行われ、一人の脱落者もなく完歩した。また、射撃検定でも初めての実弾射撃に全員緊張の連続、補射をするものも出たが全員合格。

訓練の合間には、真駒内駐屯地での部隊研修で新隊員WACとの会食や、また、座禅修行体験で「一風の境地」に入り過ぎ？て居眠りする者もいたり、楽しい一時を過ご



した。六月に入ると教育も最終段階。東千歳演習場での歩哨・外哨、小銃掩体構築訓練、個人天幕による宿営、桂沢湖から駐屯地までの25km行軍を



了。六月二十六日には、入隊時とは見違える様な逞しい顔つきで修了式に臨み、前期教育を終えた。

駐屯地司令杯少年野球大会

駐屯地では六月四日、十一日、十八日の三日間「第七回駐屯地司令杯少年野球大会」を実施した。

最近のサッカーブームと子供の減少により、平成三年(第四回大会)の二十一チームを最高にチーム数が減少の一途をたどり、今大会は十チームの参加となった。

開会式は、出場十チーム百五十三名と応援に駆けつけた父母約七十名、野球関係者五十名が集まり、六月四日駐屯地野球場において行った。

開会式で得田司令から「皆さんは、日頃の練習成果を十分発揮して、礼儀正しく明るく、元気に伸び伸びと最後まで優勝を目指して頑張ってください」と挨拶があり、前年度優勝の幌向南チーム、神田広



典キャプテンが「僕たち選手一同は優勝を目指して最後まで頑張ります」と力強く宣誓をし開会式を終了した。終了後、司令の始球式で

回戦を開始、野球に情熱を賭けた少年達の熱い戦いが始まった。結果は次のとおり
優勝：幌向南
準優勝：春日第二
第三位：志文本町
利根別第三

「団総合戦技競技会」射撃四連覇

四月二十六日、二十七日の両日、千歳射撃場・幌別駐屯地において、平成六年度第三施設団総合戦技競技会が開催された。この競技会は、射撃、銃剣道、持続走の三種目で各施設群及び集成直轄部隊の對抗で成績を競った。



四月二十六日、二十七日の両日、千歳射撃場・幌別駐屯地において、平成六年度第三施設団総合戦技競技会が開催された。この競技会は、射撃、銃剣道、持続走の三種目で各施設群及び集成直轄部隊の對抗で成績を競った。

射撃の結果我が群は射撃の部で四連覇を達成したものの、銃剣道及び持続走は善戦むなしく他群に今一歩及ばず惜敗した。

今回、部外者の方々と共同作業で色々な経験を大変勉強になった。今後はこの経験を生かし頑張っていきたいと思う。

ふれ愛マラソンを支援して



本部管理中隊 曹 悟 豊 二 歳

六月十二日、「岩見沢第六回市民ふれ愛マラソン大会」が行われ私以下八名が支援した。

市民ふれ愛マラソン自体には、多くの自衛官も参加しているのでもよく知られていると思うが、支援側はあまりよく知られていないと思う。自分も自衛隊の記録会の様なものを想像し参加したが、実際に行ってみると、何回となく繰り返される会議のなか協力団体等の意見の相違で「こんな事ならやめれば」と思うなか、それをまとめていく主催者や実行委員会の方々は、妥協なく真剣に大会に取り組んでいく姿は想像とはまったく違うところであった。自衛隊とも協定書を交わしたり、連絡手段は全て携帯電話と驚くばかりである。

500人収容の大宴会場から中小宴会場
でお待ち申し上げております

ホテルザンブラガ

岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788



株式会社 **本堂建設工業**

本社 ☎068-21 三笠市岡山359番地1 TEL01267-2-7300
FAX01267-2-5858
札幌支店 〒008 札幌市白石区本通り南1の8 TEL011-861-1381
FAX011-865-5034
石狩支店 〒061-82 石狩市花川南1条1丁目 TEL0133-73-3111
FAX0133-73-0757



千葉電気工事株式会社

代表取締役 **千葉嘉男**
岩見沢市東山町2番地71
電話 (0126) 24-4567番

駐屯地諸隊紹介

業務隊

昭和二十八年九月、岩見沢駐屯地業務隊が発足して今年で四十一年になります。

昨年の八月、第二十二代業務隊長となられました津村二佐統率のもと、二八年度、隊は「明るく活力溢れる環境のもと、即応態勢の充実に努めつつ、駐屯地業務を柔軟かつ積極、創造的に推進しつつ、諸部隊に対する支援業務を完遂する」を方針とし、一、隊風の確立とし、隊員相互が信頼し合い、助け合いながら着実に各種業務を推進しつつ、自学研鑽に基づく自信と、活力に満ちた隊風の醸成、二、支援業務として、(ア) 駐屯地所在部隊、その他の被支援部隊等の行動及びニーズを早期に把握し、積極的かつ融通性のある業務の実施、(イ) 業務の重要性、緊急性を弾力的に判定し、効率的、効果的に実施。

(ウ) 駐屯地関連施設の確実な点検に基づく先行的かつ計画的な維持補修、(エ) 先行的に衛生情報の提供、早期受診、定期健康診断の完全実施、(オ) 駐屯地を核の園にする美化、生活勤務環境改善による二千本桜運動の推進等々、身近な所から、又、将来を見据えた展望に立って業務を推進しております。

また一方、広報紙「ふれあい」による



隊員とその家族を含めた隊員相互の融和として幅広く情報を交換するかわら、隊長の日を月一回実施し、業務隊ならではの自衛官、事務官、技官、主事等特色ある職場でそれぞれが協調し合い、融和団結の場を設け、息の合った明るく活気溢れる職場としてそれぞれの任務を前向きに取り組んでおります。

会計隊

第三七七会計隊は十一名の少人数で構成されており、藤原隊長を核心として駐屯地の会計業務である隊員の給与、入札、出張による旅費、営内者の食事の糧食、駐屯地すべての調達業務等を整齊円滑に推進しており、信頼される会計隊をモットーに頑張っております。

会計隊は、歴代先輩の良き伝統の継承を引き継ぎ、創隊以来三十余年間、服務・車両等無事故を続けております。また、緑故募集においても、毎年二、三名を入隊させる等、個人表彰はもとより部隊表彰も受けております。全道各競技会においても、全道二十四個会計隊が札幌に集結、会計実務競技会において平成元年二位、平成二年優勝と毎回上位の成績を修めております。冬季戦技競技会では、優勝、準優勝と「さすが豪雪地岩見沢」と言われたもので、(昭和の終わりとともに中止)。このように少人数にもかかわらず、駐屯地厚生活動にかかわらず、野球部では宮橋杯、全道大会にも選手の出場として出場の平澤士長、パトミニントン部では全国大会に出場した六戸三曹、詩吟部では部長を務める阪田曹長が北海道詩吟連盟師範、朝翠流秀範(師範の上)の看板を持ち、ビクター音楽産業の吟友会員で全道に名声を轟かせている先生です。この様に厚生活動でも大いに活躍し要となつて

基地通信隊

基通岩見沢派遣隊は、昭和二十七年十一月二十二日北都通信所岩見沢支所として、伊藤二等保安補(二等陸曹)以下二十二名で発足し、以後第三二六固定通信隊、第三二六基地通信隊と改編を重ね現在に至っております。この間、通信機材も無線、自動交換機、模写電送装置、通信システム等年を追う毎に新しい機器が入ってきました。

隊の勢力も十二代目の隊長手嶋二尉を核心とし、市内からの電話を部隊につないたり、部隊からの電話を市内につなぐ交換業務や、電話機、電話線を維持管理する小山田二曹以下三名(交換手一名)の電話班、各部隊の電報を適切に処理し相手に送信した

も、優勝、準優勝と「さすが豪雪地岩見沢」と言われたもので、(昭和の終わりとともに中止)。このように少人数にもかかわらず、駐屯地厚生活動にかかわらず、野球部では宮橋杯、全道大会にも選手の出場として出場の平澤士長、パトミニントン部では全国大会に出場した六戸三曹、詩吟部では部長を務める阪田曹長が北海道詩吟連盟師範、朝翠流秀範(師範の上)の看板を持ち、ビクター音楽産業の吟友会員で全道に名声を轟かせている先生です。この様に厚生活動でも大いに活躍し要となつて

最後に、諸隊は少人数の集まりであり、基通、警務、調査との融和団結を深めるた



り、受信した電報を各部隊へ送付する由田二曹を班長とする通信所岩見沢支所、道央から道北・道東へ通じる通信の有人中継局としての重要な任務を担っている加藤二曹以下四名の搬送班と充実した人員で、駐屯地で一番高い位置に通信所を構え、駐屯地の動きを見ながら毎日通信業務を実施しており、ここで育った隊員も全道はもとより遠く九州まで散らばって活躍しております。先輩たちが築いた伝統のおかげで、他から「岩見沢は良いところだ、一度勤務してみたい」と言われています。



ビル管理部、北海道知事登録・元・清・第6号

はしもと商事有限会社

メンテナンスに関する事ならお任せ下さい。

親切・丁寧・确实

TEL・FAX **22-5546**
(0126)

岩見沢市駒園5丁目6

オール電化マンション

レジェンド

(有) **エイ**

連絡先：岩見沢市6条西7丁目
☎22-0087

総合商社

株式会社 **君島商会**

□本 社	岩見沢市南町8条2丁目	☎22-4613
□本 文 支 社	岩見沢市水本文町2条3丁目	☎22-5813
□業 沢 支 店	業 沢 町 本 町 10	☎45-2066
□石 油 部	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-4565
□自 動 車 部	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-6434
□オートガム岩見沢	岩見沢市南町9条2丁目	☎22-7861
□コンパス岩見沢	岩見沢市南町8条2丁目	☎24-8390
□富貴イレブ	岩見沢市南町8条2丁目	☎25-4840

みんなの広場

新たな決意

「男として」

第三三五施設中隊
士長 鈴木善貴



今年一年は、自分にとって大切な一年になると思います。一月一日付で陸曹候補生に指定され、履修期教育を終え、三月から鉄剣道の合宿に参加しました。陸士としての合宿参加はこれが最後になります。

七月には第一陸曹教育隊に入校します。そして九月末には父親となります。結婚して約一年、こんなに早く親になるとは思っていませんでした。今、自分の気持ちの中ではこんな自分が、ちゃんと子供を育てることが出来るのかという不安感と、早く自分の子供を抱きたいという期待感で一杯です。でも、一人の男として、そして夫として、やがて父親となる者としてこれからはしっかり家族を守り、勤務、訓練等頑張っていきたいと思っています。

候補生として、家族を持つ一人の男としての責任の大きさを自覚して行動していきます。今年二十四歳年男、これからもっと頑張ります。

「陸曹になっての決意」

第三三七施設中隊
三曹 谷 充晃



私が自衛隊に入隊して早いで七年が経ちました。何をやるにもすべて初めての前期、後期教育も修了する事ができ、中隊の一人として自分なりに頑張ってきました。

でも、何年もの月日が経つにつれ慣れたきたせいか、新隊員の時のような素直さや真面目さがだんだん薄れてゆき、ちょうど二任期が終わる頃、上司からも「陸曹候補生の勉強をしなさい」と言われており、この緩んだ今までの生活から抜け出すのに良い機会であり、責任のある仕事を与えられれば良いのではと考え、勉強し私の念願であった陸曹候補生となることが出来ました。なってからはほとんど陸曹と同じ立場で見られ、今までの生活とは正反対の日々が続きました。その後履修期、陸曹と教育を受け三等陸曹という階級を標に付けて、現在通信陸曹として毎日頑張っています。

これからは陸士のような気持ちは一切捨てて、上司、先輩から認められる理想の陸曹に近づけるように、一日一日を大切に過ごし頑張っていきたいと思っています。

異動

「岩見沢での生活」

基地通信隊
手嶋健祐一尉夫人 尚美さん



北海道での生活も、早くも4年目に入りました。

初めての吹雪には嬉しくても子供達とビデオを回したくらい、雪がめずらしい私でした。雪は溶けてなくなるものだと思っていたのに、寒いから溶けず雪を捨てる所がなくなるとい意味が、こちらに来てようやく理解できました。除雪では、朝早くから休みの日にまで、隊員の方がフルで押してくださるので、大変助かっています。感謝の気持ち一杯です。本当にありがとうございます。

「北海道に来て」

第三二二施設器材中隊
岡田耕英三曹夫人 里美さん



北海道に来て、一年の月日が「あっ」という間に過ぎました。

今、思い出してみると、昨年三月末小樽の港に着いた時はまだ一面が雪景色で空気が冷たくとも寒く、こちらでの生活が一瞬不安に感じました。私にとって、北海道での生活は初めての事です。まず官舎に住むのも初めて、もちろん冬の雪かきも初めてのこと、ジンスカンも一度食べたことはあるけど、こんなに生活に密着しているとは思わなかったし、食生活の違いを特に感じました。例えば、ラム肉、名前のわからない魚など、どうやって食べたらよいのかと思いました。その反面、カニ、イクラ、鮭など北海道の味覚を堪能することが出来ました。

昨年の夏は、洞爺湖にキャンプに行きました。子供達も少しづつすっかりして来たのが楽しみです。これから全道を見て回るのを楽しみます。

これからは、北海道での楽しい思い出をたくさん作っていきたく思います。でも雪かきは、ちょっとツライかな。

結婚

「結婚」

第三二六施設中隊
二尉 衛藤 栄 治



「結婚」この言葉を聞いて、皆さんはどういう事を考えるでしょうか。独身の人は輝くばかりの明るい結婚生活を、又、既婚者は現実の厳しい生活を思い起こすことでしょうか。

私について言えば結婚はまだまだ先と思っていました。が、縁あってある女性と出会い、結婚することになった現在その準備の真っ最中です。結婚も何とか無事に済み、式場の予約、調整に行ってます。びっくりしたのはその準備事項の多さでした。

まずは祝賀会の招待者名簿、祝賀会の要領の調整、席順とやる事は多々あり、ただただ圧倒されるばかりです。しかしながら、気を取り直して「よし、まずは名簿の作成だ」と、作業を始めました。これがまた一向に進展しないのです。名簿に名前を書き入れるたびに、「あいつとはよく飲みに行ったなあ」などと思いにふけていたうちに時はどんどん過ぎていきます。

たまには気合を入れ頑張りに作っていると、廊下から中隊長の声がします。「小隊長!! 野営の計画はまだか?」「はい、もうじき完成します」慌てて私はフロッピーを交換し、画面は「祝賀会名簿」から「野

主人とは、二年余りの交際を経て一緒にになりましたが、私は初めから結婚を意識してお付き合いを始めたわけではなく、彼も気づけず、いつか自然体で接してくれました。結婚に踏み切った一つには、私に無いものを沢山もっている人、二つには本音で話ができる、一緒に居ても気を張らないところ、つけ加えるとすれば素朴で温厚な雰囲気。が安心できたところかしら?」

結婚前は、料理などあまり作ったことがなかったし、朝に弱い私ですから、本当にちゃんとやっていたいけるか不安でしたが、今、毎朝早く(私にとって)起きて朝食とお弁当を作っている自分が信じられません。

自衛隊は慣習、長期出張など何かと家を空けることの多い仕事なので、一人でいるときなど「早く子供が欲しいなあ」なんて思ったりしています。

また、結婚して間もない私達ですが、いつも相手を信頼する心と、思いやる気持ちを忘れず、あたたかい家庭を築いていきたいと思っています。



「結婚して」
本部管理中隊
宮崎文生三曹夫人 弘美さん

人としての時代としてのモニュメントを大切に

有限会社 渡辺石材工業

■本店 〒068 岩見沢市8条東11丁目
TEL (0126) 25-2545 FAX (0126) 23-4567

安心とゆとりのプラン

協栄生命 LLワイド 15 50 100 更新型

余裕資金を上手に活かして大型保障

協栄の保険料額金制度をご利用ください

定期特約付終身保険

協栄生命保険株式会社

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局: 岩見沢商工会議所内
支部長: 勝井祐輔
TEL: 0126-22-3445

☆新中隊長の抱負☆



第335施設中隊 1 川口 施尉和則

三月二十三日付をもって第三三五施設中隊長を拝命し、諸先輩が築き上げられた伝統豊かな先遣中隊の中隊長として勤務できる事を光榮に思うとともに、その重責を深く感じる次第であります。さて、中隊長に上番するにあたり隊員諸君に「前へ」の気持ちを持って勤務していただきたいと要請しました。この要請事項「前へ」を決めるにあたって、私は学生時代からラグビーをやっており、その間に得た「前へ」の精神で仕事・スポーツまたプライベートにおいて、苦しい時も辛い時も乗り越え、自分の人生に大きな自信と誇りを

持つことができ、中隊長として「前へ」を要請事項とした次第であります。これから中隊の隊員と一緒に精強第三三五施設中隊を目指し勤務して行くわけですが、中隊長として隊員が気軽に話せるような場を作り、隊員個々に合致した具体的な目標を確立させるとともに、それがいかなる困難な目標であっても創意工夫を凝らし、また、裏で頑張っている隊員を忘れることなくその重要性を認識させ、参画意識の高揚を図り、全員で力を合わせて「前へ」の気持ちを持って目標を達成する充実感を与え、明るく楽しい精強第三三五施設中隊を育成したいと思っております。一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくごお願い申し上げます。

昇任おめでとう

- 【第十二施設群】
- 第一陸尉へ 本部管理中隊 尾路 昭広
 - 第二陸尉 田中 明光
 - 第三三五施設中隊 佐藤 照光
 - 第三陸尉 井上 俊弘
 - 第三三六施設中隊 西森 敏夫
 - 第三二二施設器材中隊 佐藤 俊一
 - 第三陸尉 森田 勝彦
 - 第三二二施設器材中隊 本部管理中隊 工藤 義浩
 - 第三陸尉 倉橋 幸男
 - 第三三六施設中隊 村上 直樹
 - 第三二二施設器材中隊 青木 広幸
 - 准陸尉 金澤 光雄
 - 第三三七施設中隊 中村 信之
 - 本部管理中隊 松井 充
 - 陸曹長 松井 充
 - 本部管理中隊 真田 賢一
 - 本部管理中隊 石黒 徹
 - 第三三五施設中隊 則元 直樹
 - 陸士長 増原 祥貴
 - 同 猪岡 敦
 - 第三三七施設中隊 中堀 利幸
 - 同 佐伯 賢一
 - 第三四二施設中隊 大沼 穰
 - 同 松本 学
 - 同 田中 勝
 - 第三二二施設器材中隊 古川 誠一
 - 陸士長 杉浦 広行
 - 同 田川 学
 - 同 二級へ 田川 学
 - 行(二) 一級へ 太田 剛人
 - 【基地通信隊】 一等陸曹へ 小山田由憲
 - 二等陸曹 由田 克敏
 - 同 田中 勝
 - 【会計隊】 第三陸尉 斎藤 政則
 - 准陸尉 阪田 茂俊
 - 陸曹長 陸曹長へ
 - 陸曹候補生指定 〓
 - 【第十二施設群】 本部管理中隊 岸本 久生
 - 第三三六施設中隊 陸士長 片山 修司
 - 第三三七施設中隊 陸士長 沼田富士男
 - 同 渡邊 敏
 - 第三四二施設中隊 陸士長 角田 文昭
 - 【会計隊】 陸士長 平澤 秀一
 - ☆新規採用 朝山 博子
 - 本部管理中隊 友規子さん
 - 本部管理中隊 隆一 未住さん
 - 本部管理中隊 博之 晴美
 - 本部管理中隊 博之 晴美
 - 本部管理中隊 貴紀 あゆみさん
 - 本部管理中隊 貴紀 あゆみさん

ごんにちわ 赤ちゃん



長男 翼くん 4月3日



長男 諱くん 3月26日



長女 綾花ちゃん 4月15日



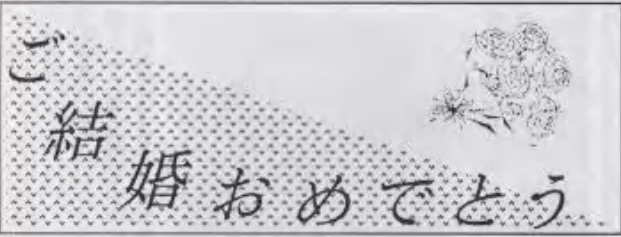
長男 弼平くん 5月6日



二女 実穂ちゃん 6月22日



長男 大也くん 6月3日



3月31日



3月31日



6月1日



3月31日

永年の勤務ご苦労様でした



業務隊 曹長 中村 正人 平成6年6月7日付 就職先 (株)フリーデン

Advertisement for Fuji Fire Insurance (富士火災) with contact information for various branches.

Advertisement for Ise Construction Co., Ltd. (近江建設株式会社) with contact information for various branches.